



並木中等story

令和3年4月21日号

本には著者の思いが詰まっている！

皆さんの読書量はどのくらいでしょうか。私は1日30分は読書をしています。多い日は3～4時間は読んでいます。小説などは、その主人公になりきって楽しんだり、驚いたり、悲しんだりしています。また、心に響く言葉や文があると、そこに付箋を貼り目印にしています。ひと通り本を読み終えた後は、作者はどのような気持ちで、この本を執筆したのかと振り返っています。付箋はその時に役立ちます。そうすると、作者の思いが、少しずつ感じられてくるからです。皆さんにも振り返りをおすすめします。



実はこの事は皆さんが使用している教科書にもいえるのは知っていますか。先日、ある教科書の編集者と話をしました。教科書には枚数の制限、カラーページの制限、1ページの文字数の制限があり、その制限の中で最大限の内容を入れなければなりません。そこで、教科書の本文には、著者が強く伝えたいと思った内容が残るのです。教科書にも著者の思いが込められているのです。

祝《国公立90名、私大延べ349名が合格》

進路情報です。令和2年度の卒業生144名のうち、90名がの生徒が国公立大学に合格しました。私立大学は早稲田22名、慶応10名、上智9名、東京理科大43名など延べ349名が合格しました。おめでとうございます。